

平成 29 年 度

中東遠看護専門学校組合

定期監査結果報告書

中東遠看護専門

学校組合監査委員

1 監査の種類

定期監査

2 監査の期日

平成 29 年 11 月 10 日

3 監査の範囲

平成 29 年 9 月末日現在の予算及び事務事業の執行状況

4 監査の方法

提出された資料に基づき、袋井市監査委員事務局において、関係職員から内容説明を受け、事務事業の実施状況及び予算の執行状況を聴取し、監査を実施した。

5 監査の結果

監査の対象となった予算及び事務事業について、おおむね適正に執行されているものと認めた。なお、監査の際に見受けられた軽微な事項については、その都度関係課に改善又は検討を指導したので記述を省略した。

6 監査所見

(1) 看護教員については、この先 10 年間に 8 人の定年退職が予定されているため、計画的かつ積極的に看護教員の確保に努められたい。

(2) 少子化の進展や看護系大学等看護師養成所の増加により、優秀な学生の確保が厳しい環境に置かれている。

昨年度策定した「東海アクシス看護専門学校将来構想」に基づき、学生のニーズに沿った教育環境を整備するとともに、質の高い教育の構築等、魅力ある学校づくりに取り組み、選ばれる学校となるよう努められたい。

(3) 社会の ICT 化に伴い、教育の ICT 化も進んでいる。

看護師においても、情報社会に主体的に対応できる能力を身に付けることが求められていることから、タブレットを活用した授業の導入等、学校の ICT 化について検討されたい。